

令和元年度第2回第6次碧南市総合計画第1分科会

議事要旨

日時	令和2年1月30日(木) 午前10時～午前11時50分	
場所	碧南市役所 7階 議員大会議室	
出席者 ■出席 □欠席	審議会 委員	<input checked="" type="checkbox"/> 石川和昌委員 <input checked="" type="checkbox"/> 鈴木泰博委員 <input checked="" type="checkbox"/> 石川鋼逸委員 <input type="checkbox"/> 永坂幸子委員 <input checked="" type="checkbox"/> 原田利夫委員 <input checked="" type="checkbox"/> 竹原幸子委員 <input checked="" type="checkbox"/> 森下敏弥委員 <input checked="" type="checkbox"/> 柴田和子委員 <input checked="" type="checkbox"/> 長田あすみ委員
	事務局	生田経営企画課長、中川経営企画課長補佐兼政策推進係長、小林主査、鈴木主事、関係各課長
傍聴者	0名	
次第	1 経営企画課長あいさつ 2 第1章基本施策(案)について 3 意見交換 4 今後のスケジュール	
1 経営企画課長あいさつ	○経営企画課長よりあいさつ	
2 第1章基本施策(案)について	○事務局から資料説明	
意見交換		
	① 防災対策	
委員	<p>○地域防災計画や水防計画などの完成した計画やハザードマップなどをどうやってアクションにつなげていくのか、また、ハザードマップは全戸配布されているが、外国人などの町内会未加入の方には配布しておらず、未配布の方にどう展開するのかを第6次の計画に織り込んでほしい。</p> <p>○自助として自主防災会を上手く活用、展開しているのは棚尾ぐらいである。自主防災会の活動をどうすれば防災対策につながるのか見えない。共助・公助として組織だった活動ができる仕掛けづくりを具体的にやっていただけると地域住民と協力体制が少しずつできると思う。その辺のことを織り込んでほしい。</p>	
事務局	<p>○町内会の加入世帯にのみ配っており、それ以外で必要な方は、防災課で直接配布している。</p> <p>○外国人へは「やさしい日本語」を使った防災メールの配信準備を進めている。</p> <p>○自主防災会は町内会を母体としているため、毎年メンバーが変わってしまうところが課題である。年に2、3回、消防予備隊や防災ボランティア連絡協議会と協力し、防災訓練等を実施してもらっており、その活動に必要な費用を委託料で支援している。</p> <p>○地区の動きに対して協力しながら順次進めていきたい。</p>	

委員	<p>○防災のページに課題が少ないと感じる。避難場所の過不足、避難方法、災害の事前連絡を住民に伝える方法があるか。今やっていることで十分か。十分でないなら課題として挙げられるのではないか。</p> <p>○市として、どういう姿になっておれば、災害が起こった時に最大限の減災となるのかの施策がほしい。</p> <p>○例えば、南の方でいうと、小学校のグラウンドをかさ上げするなど、10年、20年の単位で考える施策を盛り込んでほしい。</p> <p>○また、南はいろんな家も建ってきて、人も増えてきていると思うので、今までの避難場所のみだけではなく、今後のことは考えてもらえているのか。</p>
事務局	<p>○避難所は公共施設を考えている。あとは適切な施設があれば民間施設に一時退避場所として指定をお願いしている。</p>
委員	<p>○伊勢湾台風では小学校が水に浸かったので、グラウンドの土のかさ上げをするなどの対策が必要ではないか。</p>
事務局	<p>○南部の方は、防災拠点として川口に高台の避難場所を作ることを国に要望している。</p> <p>○学校の使い方はご意見として参考とさせていただきます。</p>
委員	<p>○霞浦公園に防災タワーを作れば、安心になるのではないか。</p> <p>○近くにあそこにいけば大丈夫という安心があるとうれしい。</p>
事務局	<p>○ご意見として参考とさせていただきます。</p>
委員	<p>○自主防災訓練の市民参加率7.2%であるため、一人一人の市民の意識を変え、ここの参加率を上げることが先ではないか。</p> <p>○消防団は、皆さんの生命と財産を守るべく訓練している。津波が来れば各地区の水門を閉めに行くといった、災害を未然に防ぐ、減災するための活動をしている。しかし来年は定員45人に対して、16人しか応募がなく、今のシステムでは集まらない。企業の従業員数に応じて、割合で団員を出すという少し強制力があれば消防団員が確保でき、結果的に企業から防災意識が高まり、それが各地区に伝わっていくのではないか。</p> <p>○津波より高潮がこわい。防災マップにも加えてほしい。</p>
事務局	<p>○ご意見ありがとうございます。</p>
	<p>② 防犯・交通安全</p>
委員	<p>○高齢者の交通安全大会というものを毎年実施しているが、参加されない方の交通事故が多くあると思う。参加できていない人たちへの呼びかけが難しい。市としてはどう考えているのか。</p>
事務局	<p>○交通安全対策について、反射材の配布を老人クラブの人をメインに配布をしています。</p> <p>○老人クラブの集まりに来ない人や1人で家にこもっている人は病院にはくるだろうということで、去年から病院・診療所の窓口にて、反射材を置いていただき、配布をして対策している。</p>
委員	<p>○今、碧南市の防犯カメラの設置状況と今後の予定どうなっていますか。</p>

事務局	○防犯カメラについて、公共施設はほぼ付いており、区民館や商店街には補助制度により支援をしている。一般の方への直接的な支援はないが、青色パトロールを強化しカバーしている。
委員	○これからの10年で人口の構成が変わったときの防犯対策を盛り込んでほしい。
事務局	○ご意見ありがとうございます。
委員	○免許の自主返納についての配慮や制度を考えてほしい。そのため施策の一つとして候補に挙げていただきたい。
事務局	○高齢者の足の確保についてはくるくるバス等の第3分科会で検討する。
	③ 上下水道・治水
委員	○川底が随分砂がたまってしまっており、災害時に不安に思う。川底を下げるような施策はあるか。
事務局	○準河川で泥がたまっているようであれば、順次対応していく。矢作川は国の管理で、伐採を順次行っている。
委員	○碧南市の中の配管自体は、こういったカタチでやっており、また耐震用に変えるような計画があるのか。
事務局	○水道管については、現在地震に強い管材を使用しており、耐震化と更新をあわせて順次進めていく。耐震化の更新とあわせて順次進めていく。 ○下水道管については、県の大きな幹線については対応済みである。市では下水道総合地震対策計画に基づき、避難所に指定されているところを調査し、必要に応じて対応していく。
委員	○震災が起きた時に、新川、西端、大浜は応急給水栓が遠い。 ○新川、西端、大浜の地域に配慮した幹線配水管が敷設を計画してほしい。
事務局	○提案としてお聞き致します。
委員	○雨水対策をしっかりと取り組んでほしい。 ○雨水と下水は別の管か。
事務局	○汚水と雨水は別で処理するように現在整備をしている。 ○雨水に関しては、優先順位をつけながら、限られた予算で、対応していく。
委員	○下水事業のPR活動について、新しい策があれば聞かせてほしい。
事務局	○補助メニューを紹介するなど、接続促進に向けた個々への活動を職員により地道にしていく。
	④ 公園・緑地、⑤環境保全・環境衛生・資源循環
委員	○ごみの回収について、ごみの美化の問題、環境負荷の問題から隣近所を一つにまとめたごみ収集場所を設置したらどうか。 ○クリーンセンターの火災事故を教訓にした対策などを計画に盛り込んだ方がいいのではないか。

事務局	<p>○ごみの回収については、ルート回収の方が高齢者や障害者の方に配慮した政策であると捉えているが、確かに回収車のCO2排出は今後考えていく必要がある。</p> <p>○近隣4軒以上で、かためてごみを出している場合、カラス除けの網を渡しており、集積場所の設置は借り上げのこともあるため、できるだけ集積をお願いしたい。</p> <p>○周辺美化も検討事項ですが、一番の問題はごみの減量化であるため、併せて考えていく。</p> <p>○クリーンセンターの火災は、リチウムイオン電池の発火が原因ではないかと考えられており、うまく分別回収できるよう、碧南市と高浜市で何かできないか検討していく。この計画に掲載する予定はないが、この教訓を活かし、啓発していきたい。</p>
全体	
委員	<p>○交通安全の点で、道が危ないところがあらかじめわかっているといい。</p> <p>○歩道にゴミが落ちていても近くにゴミ箱がないため、なかなか拾うまでということはできない。</p> <p>○テレビでやっている水を抜いてきれいにするイベントを油ヶ淵ではできないのか。</p>
事務局	○油ヶ淵には常に排水があるため難しい。
委員	<p>○構想に世界に誇れるものや大胆な発想があってもいいのではないかと。</p> <p>○ハード面でなく、ソフト面（市民の意識を変える方法など）が少ない。</p>
事務局	○3月の全体会議の時に、重点的などころをお示ししたい。